



2026年10月30日

各 位

会 社 名 東洋シャッター株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡田 敏夫
(コード番号 5936 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員経営企画統括部長
野中 真也
(TEL 06-4705-2125)

2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値（2026年4月1日～2026年9月30日）と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異 （2026年4月1日～2026年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 9,400	百万円 240	百万円 200	百万円 140	円 銭 22.11
今 回 実 績 値 （ B ）	9,357	206	160	87	13.75
増 減 額 （ B － A ）	△42	△33	△39	△52	－
増 減 率 （ ％ ）	△0.5	△14.0	△19.9	△37.8	－
（ ご 参 考 ） 前 期 実 績 （2026年3月期 第2四半期）	10,143	378	325	199	31.58

2. 差異の理由

当中間連結会計期間の業績につきましては、建設投資意欲は底堅いものの、人手不足等から非住宅着工床面積が減少傾向であるため、第1四半期は売上高、利益の両面で大きく出遅れましたが、第2四半期では利益面で前年同期を上回りました。しかしながら、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益において、期初公表値を下回ることとなりました。

下半期については、さらなる価格転嫁を図り、足元の受注高も堅調であること等から前年同期を上回る業績を予想しているため、通期連結業績予想につきましては、前回公表した業績予想を据え置いております。今後、予想数値を修正する必要がある場合には速やかにお知らせいたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上